

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」(39)

平成 27 年 12 月 29 日

村山 章

ギリシャ・ローマ時代に始まっていた奴隷制度は、15 世紀には欧米はじめ世界の国々に広がり、奴隷の売買や貿易まであったようです。上流階級では黒人の召使いに囲まれ、優雅に暮らし、黒人の幼児がペットとして飼われた時代もあったそうですから驚きです。こうした歴史背景も原因なのか、西洋思想には労働に対して罰のイメージが伴います。反面、東洋思想では労働を通していかに自分自身が成長していくかという考えが、大きな位置づけを占めています。

戦後 70 年になりますが、日本はこの間、西洋思想を取り入れてきました。物事を理性的に割り切る合理主義、個人主義がはびこり、日本人の考え方も随分変わったと感じます。

自然科学の絶対性を信じる科学万能主義の影響もあったのでしょうか、戦後の科学の発展には目覚ましいものがあります。そして、その科学と技術が結びつき、私たちの生活を根本から大きく変えてきました。洗濯機や冷蔵庫、テレビなどは日常生活を便利に変え、自動車や飛行機は人の移動を簡単にし、世界を狭くしました。そして今、インターネットがビジネスや政治、人間関係の在り方までも大きく変えています。

物質的に豊かになり、便利な世の中になりました。反面、精神的に悩んで診療内科にかかる人が増えているようですし、世界を見れば憎しみが憎しみを呼ぶテロの犠牲者が多数出ています。

日本文化は情緒を大切にする文化です。履物を脱いで家に入り、三つ指ついて挨拶を交わすのは、合理主義の考え方とは全く反対の行動です。人に様を付けて人様と言い、他人を敬い、付き合いを大切にしてきました。そして絆や情を大切にしてきました。

グローバル化が叫ばれて久しい現在、訪日外国人旅行を意味する「インバウンド」という言葉に乗って、日本を訪れる外国人は増加の一途をたどっています。絆や情を大切にする日本文化を、地球社会を平和に導くために今こそ世界に広めるときなのではないでしょうか。